

図1 アンケート震度分布図(本震)

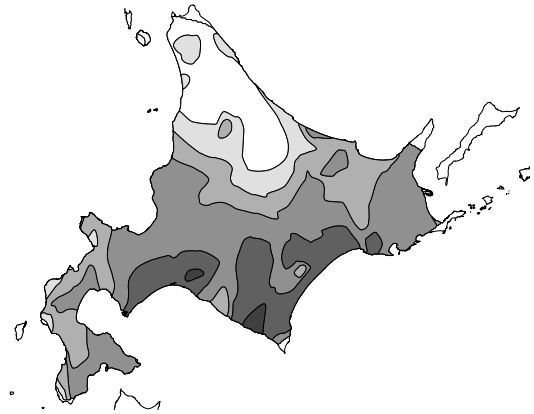


図2 アンケート震度分布図(余震)

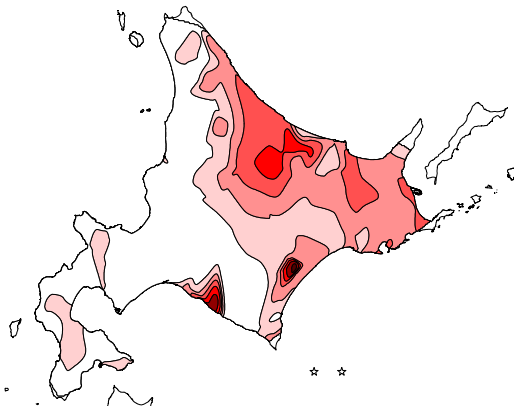


図3 アンケート震度差分布

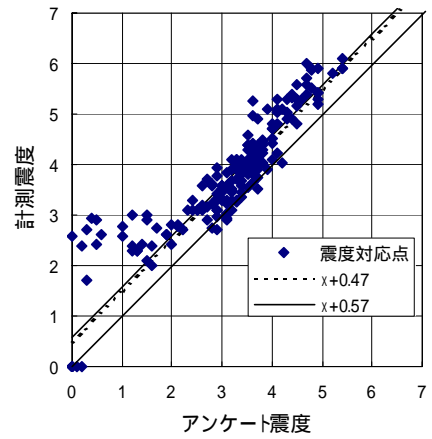


図4 本震アンケート震度 - 計測震度

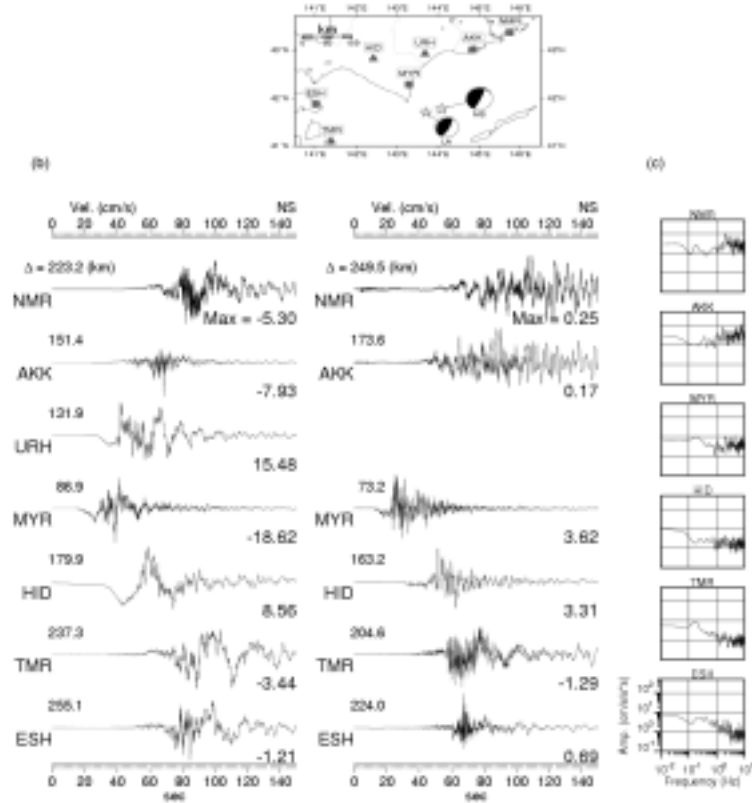


図5 (a) 震央と観測点分布。(b) 速度波形 (左: 本震、右: 最大余震; ) URH では最大余震を欠測)。(c) S波スペクトル比 (本震 / 最大余震)

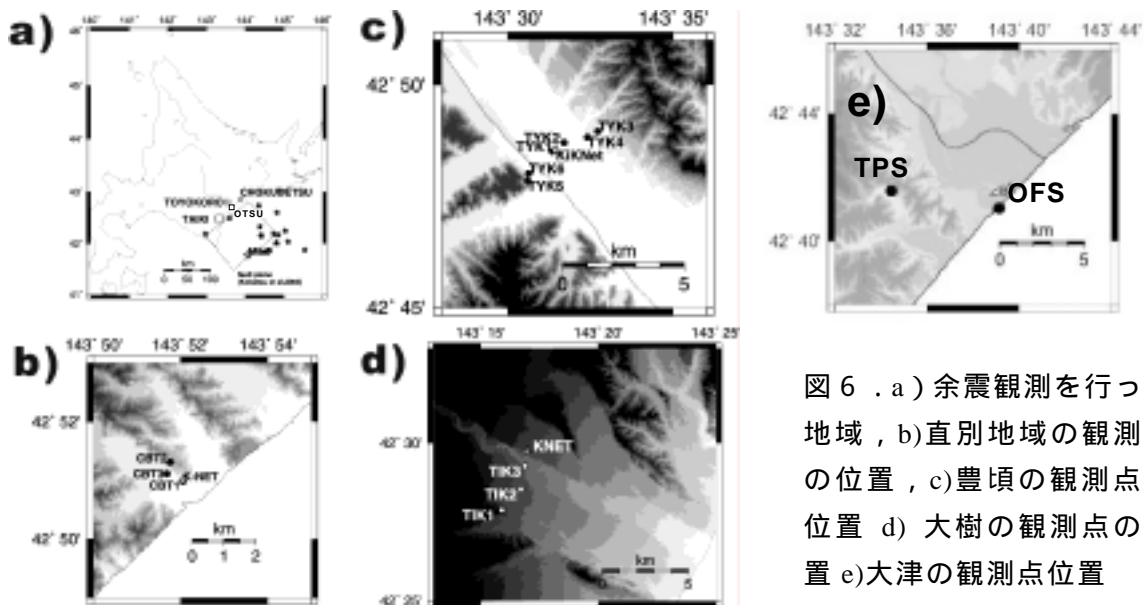


図6 . a) 余震観測を行った地域, b) 直別地域の観測点の位置, c) 豊頃の観測点の位置 d) 大樹の観測点の位置 e) 大津の観測点位置

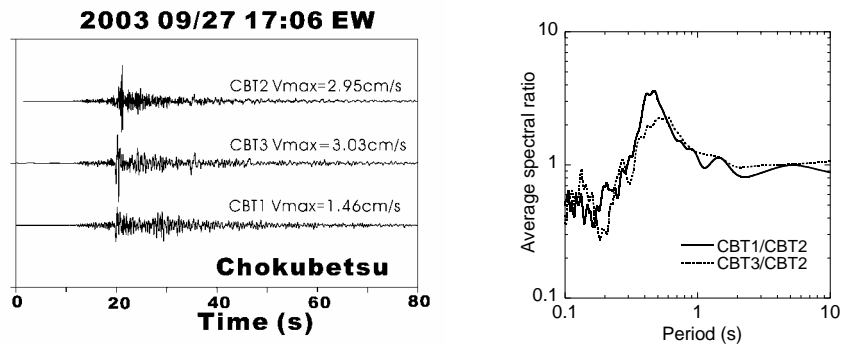


図7 直別で観測された余震の速度波形とCBT2に対するスペクトル比

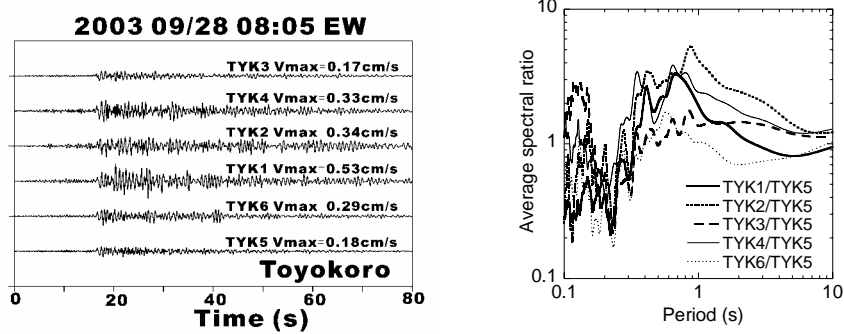


図8 豊頃で観測された余震の速度波形とTYK5に対するスペクトル比

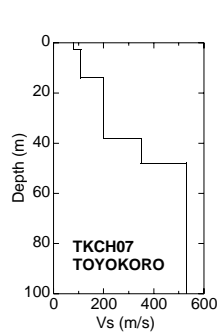


図9 KiK-net 豊頃観測点でのS波速度構造

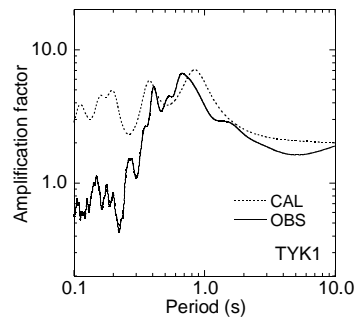


図10 TYK1のスペクトル比と図5のモデルに対する増幅特性の比較

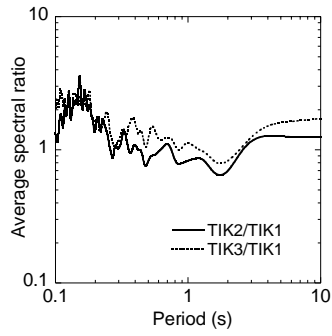


図 1.1 大樹町で観測された余震の TIK1 に対するスペクトル比

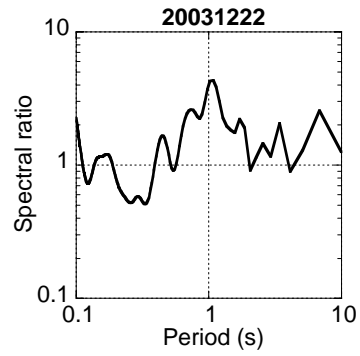


図 1.2 TPS に対する OFS のスペクトル比の例 (2003 年 12 月 22 日 17 時の地震)

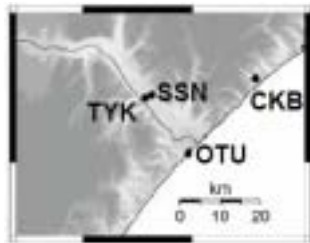


図 1.3 微動アレイ観測の位置

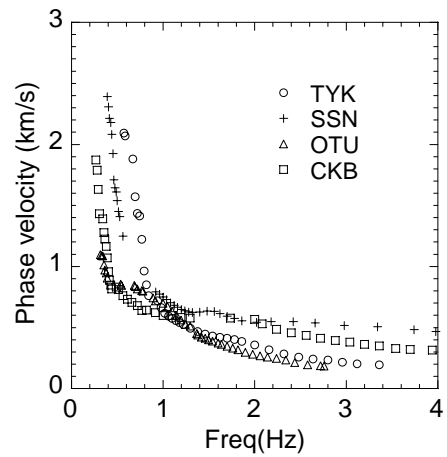


図 1.4 微動の位相速度の比較.

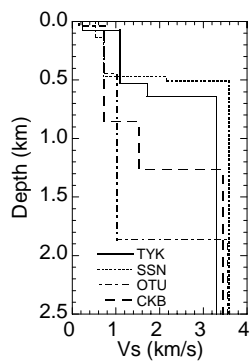


図 1.5 位相速度の逆解析から得られた S 波速度構造

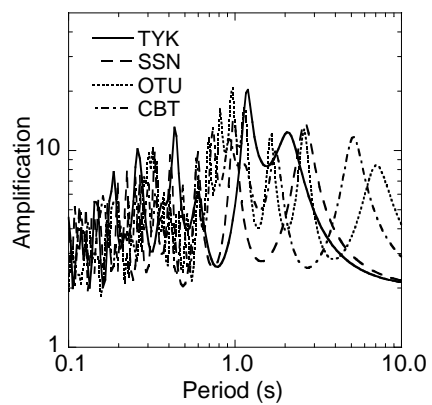


図 1.6 図 1.5 のモデルに対する S 波の増幅特性

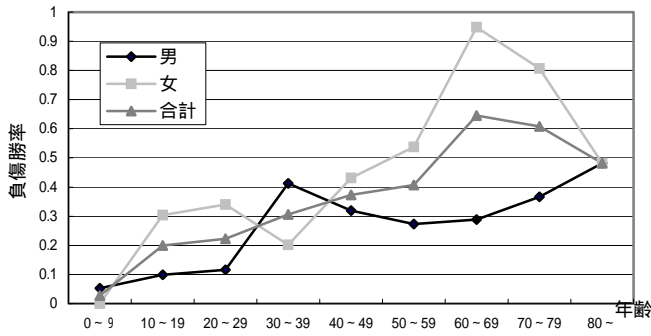


図 17 年齢性別負傷率

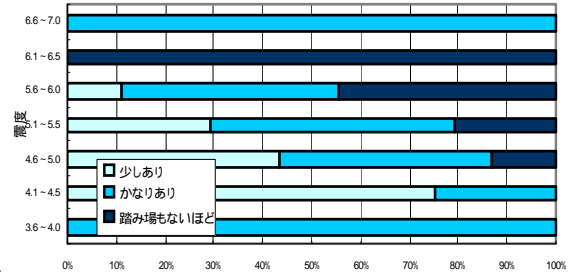


図 18 震度と散乱程度

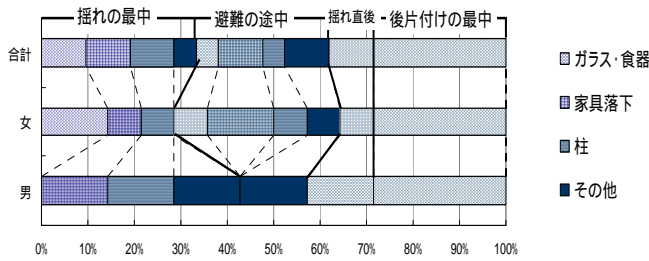


図 19 負傷時期と原因

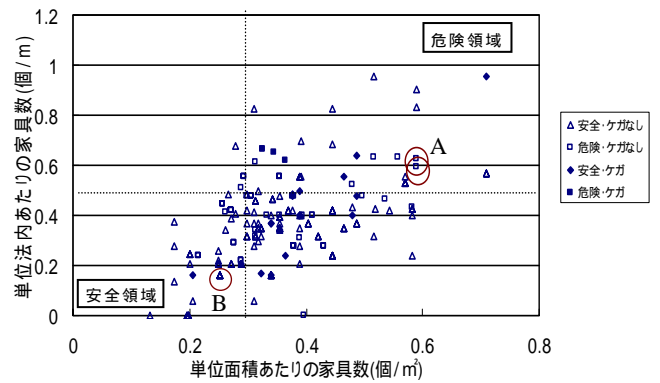


図 20 家具数・部屋形状と危険領域

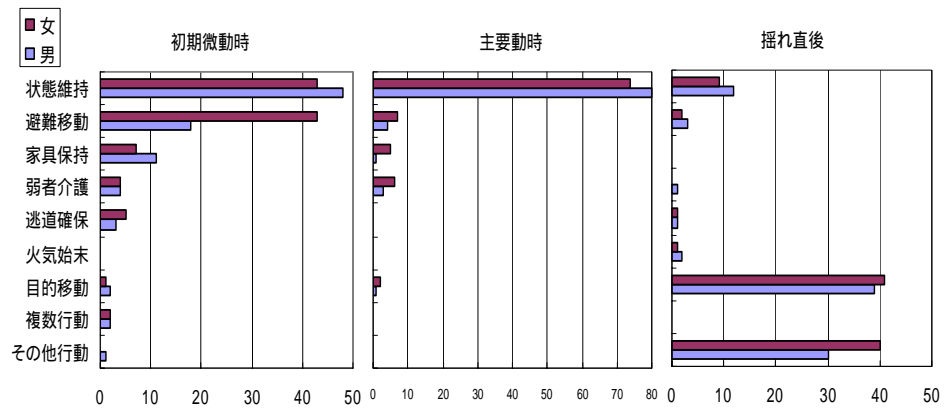


図 21 地震時の行動種別頻度分布

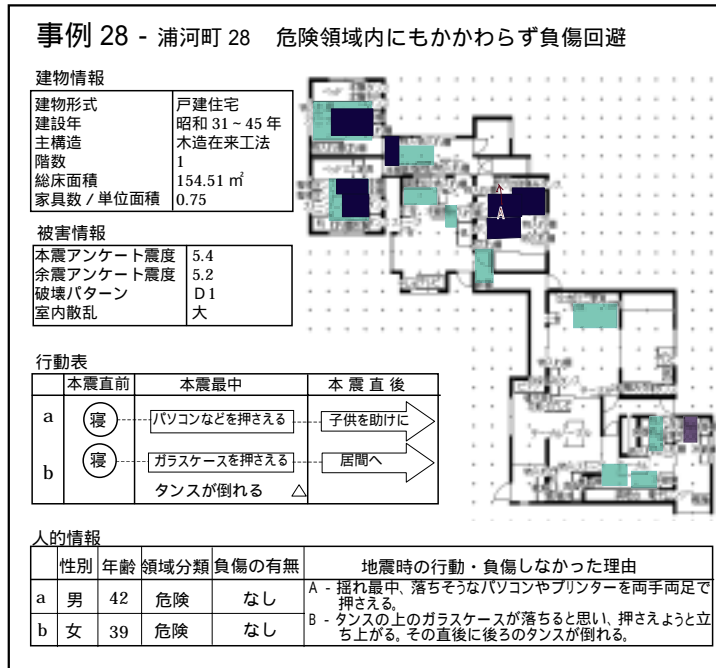


図 2 2 事例カルテ

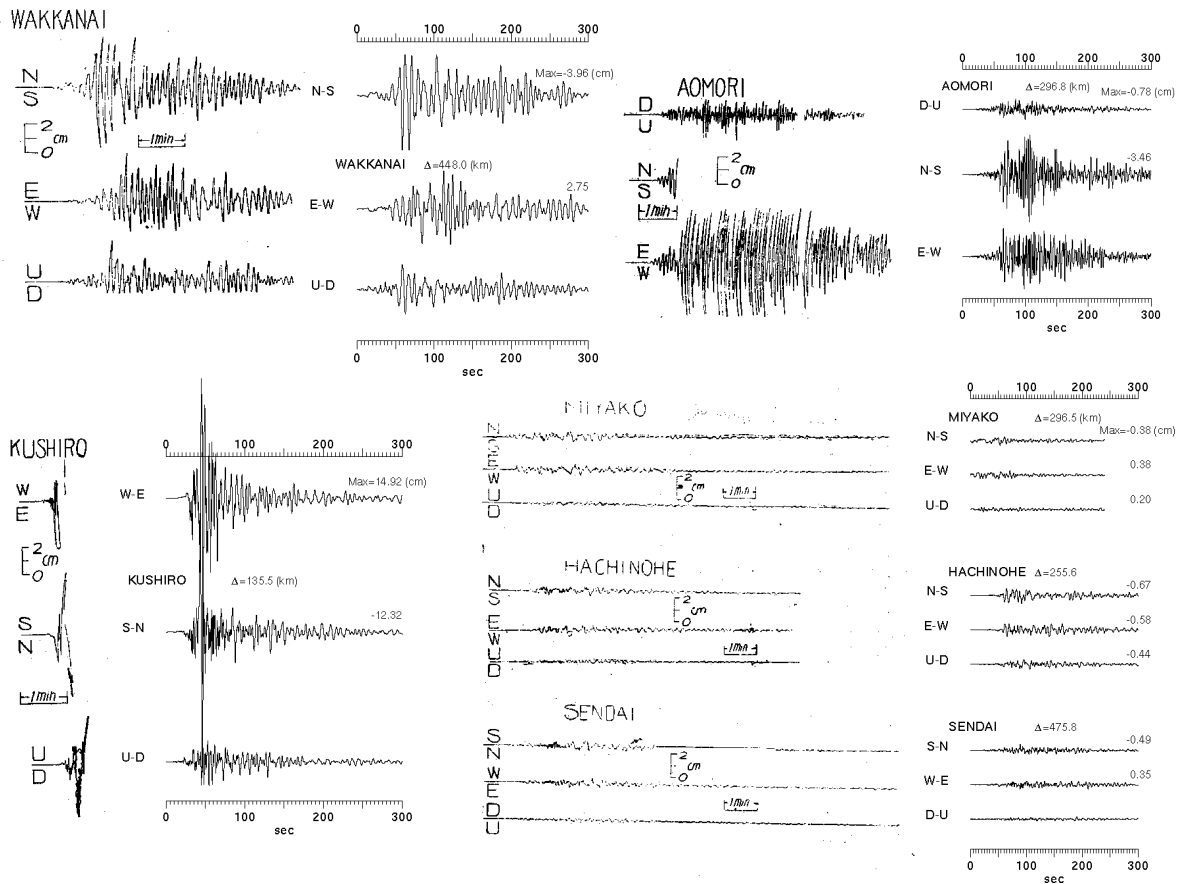


図 2 3 1952 年と 2003 年十勝沖地震による強震動記録の比較。